

(別紙4(2))

事業所名 高齢者グループホーム わらしべ

目標達成計画

作成日: 平成 22年 3月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	虐待防止、成年後見人制度、権利擁護等についての研修が行なえていない。	研修に参加する。	・外部研修への参加。 ・グループホーム連絡会を活用し、研修会の機会を設ける。	12ヶ月
2	29	地域へ出向くことはあるが、わらしべ内での交流が少ない又、継続的なボランティアがない。	わらしべを知ってもらい交流が出来る様にする。	地域へで向き交流への糸口をつかむ。	12ヶ月
3	33	重度化した場合や終末期に向けた方針の共有と支援について理解する	安心安全な施設として医療面での充実を図る。	・本年度より医療連携体制を整えて行くことから、職員には必要な研修等を行なう。 ・医師、看護師、介護職員の連携を図りそれぞれの果たす役割を確認する。	12ヶ月
4	40	食事を楽しむ支援(調理等)については、重度化ということも有り個々の利用者の身体面でのサービスの方が多くなってきており、職員がしまっている現状がある。	利用者個々の状況を把握しながら、介護員と一緒にすることにより、できることの継続をする。	・一人ひとりにかかわる時間を作り“前もって準備をする”といった形での余裕を持たせたかわりを一緒にする。 ・できることの継続。	12ヶ月
5	40	水分摂取の把握が出来ていない。	一日の水分量を把握する。	食事量に加え水分量も確認する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。